

医療行動科学 8 : 507-4-DP1・DP3・DP4・DP5・DP6・DP7・DP8

年次	学期	学則科目責任者
4年次	後学期	*伊藤 孝訓 (歯科総合診療学)

学修目標 (GIO) と単位数	<p>単位数：2単位</p> <p>良質な医療の提供を目的としたPOS医療、全人的医療の展開に向けて、基本的臨床技能、特にクリティカルな思考やコミュニケーション能力など、情意領域の行動科学的教養を修得する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・良好な患者-歯科医師関係の確立に要する臨床能力の基本的な態度、知識及び技能を身につける。 ・信頼関係を確立するために、コミュニケーションの重要性を理解し、その能力を身につける。 ・個別性重視の歯科医療を展開するにあたり、遭遇する各種出来事の重み付けをクリティカルに判断する能力を身に付ける。 ・歯科医療におけるチームワークの重要性を理解し、目的達成のために学生相互連携を身につける。
担当教員	<p>*伊藤 孝訓、*多田 充裕、*内田 貴之、*青木 伸一郎、*遠藤 弘康、*岡本 康裕、大沢 聖子、海老原 智康、*村瀬 仁美、*梶本 真澄、*須永 肇、*石井 広志、*井田 聡子、*市川 喜之、*井出 壱也、*梅田 宜承、*大川 将彦、*多田 浩三、*大山 和次、*金尾 好章、*北本 厚、*佐藤 繁、*鈴木 義孝、*須永 亨、*関 真之、*野崎 勝也、*堀内 一、*神濱 敦</p>
教科書	<p>「患者ニーズにマッチした歯科医療面接の実際」 伊藤孝訓、寺中敏夫編著 クインテッセンス出版</p> <p>医療コミュニケーション実習書 日本大学松戸歯学部歯科総合診療学講座編</p>
参考図書	<p>「歯科医療面接アートとサイエンス」 伊藤孝訓編著 砂書房 (第2版)</p> <p>「イラストレイテッド・クリニカルデンティストリー①患者の診かたと歯科診療」 黒崎紀正他編集 医歯薬出版</p> <p>「臨床医になるための必修アイテム」 医療面接から臨床判断学まで 竹村洋典 南江堂</p> <p>「臨床入門 臨床実習の手引き」 福井次矢 医学書院</p> <p>「口腔診断学」 下里常弘他 医学書院</p> <p>「POS医療と医学教育の革新のための新しいシステム」 日野原重明 医学書院</p>
実習器材	SGDはノートパソコンを使用するので、班ごとに用意すること。
評価方法 (EV)	<p>演習：授業時間内に行う平常試験及び毎回行う小テスト (60%)、制作物・体験学習レポート (30%)、受講態度 (10%) をもって総合評価 (最終評価) する。</p> <p>平常試験の結果に応じて、補講または再試験等の措置を講じることがある。</p> <p>受講態度は出席することが前提として与えられ、講義・演習参加への積極性を評価対象とする。</p> <p>授業時間数の1/5 以上を欠席した場合、成績評価は0～60点とする。</p>
学生へのメッセージ オフィスアワー	<p>臨床場面を設定した医療面接のロールプレイ演習やその他の基本的臨床技能は、臨床実習において患者に対応する際に即役立つことなので、真摯な思いと意気込みを持って演習に参加していただきたい。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 実習場所は、第2実習室を基本とする。 2. 集合時間を厳守すること。遅刻は認めない。 3. 実習にふさわしい態度と身なりで取り組むこと。清潔な白衣を着用し、マニキュア、指輪、ピアス、イヤリングは禁止する。茶髪、髭は認めない。長い髪は束ね、帽子の中に入れて垂れないようにすること。また携帯電話の持ち込み及び使用は禁止する。 4. 実習中は私語に慎み、真摯な気持ちで行うこと。 5. 事前に実習書を熟読し、十分な予習を行った上で実習に望むこと。 6. WedClass 上に解説や課題を提示するので必ず確認を行うこと。 7. 集団を対象としたワークショップ形式の演習であるため、各個人が意欲を持った自立的な態度を望む (成人学習)。 <p>E-mail (shindan.md.ml. @ nihon-u.ac.jp) による質問を受け付ける。</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/10 (火) 1時限 09:00～10:30	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療行動科学に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 実習のねらい (学習目標) を説明できる。 3. 「成人学習」について概説できる。 4. TBLについて説明できる。 5. ポートフォリオについて説明できる。 6. 言語的コミュニケーションを説明できる。 7. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 8. 情報を自ら収集、分析し問題点を探求することができる。 9. 問題点を論理的に整理し、解決方法を自ら見いだすことができる。 10. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 これまでに学んだ行動科学について復習する。 ・準備学修時間：60分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・実習書 (配布)、スライドなどの説明資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 壱也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/10 (火) 1時限 09:00～10:30	ガイダンス	<p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） c 聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望） ア 診察のあり方 b 心理社会的側面（プライバシー、尊厳）・苦痛への配慮 c 自己紹介、患者の確認 d 患者への説明・声かけ・例示 2 社会と歯科医療 エ 医療の質の確保 a 患者満足度</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナルリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等）を説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ①患者情報を収集、分析できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁孝 鈴木 義亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦</p>
2019/09/10 (火) 2時限 10:40～12:10	ガイダンス	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療行動科学に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 実習のねらい（学習目標）を説明できる。 2. 「成人学習」について概説できる。 3. TBLについて説明できる。 4. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 5. ポートフォリオについて説明できる。 6. 言語的コミュニケーションを説明できる。 7. 非言語的コミュニケーションを説明できる。 8. 情報を自ら収集、分析し問題点を探することができる。 9. 問題点を論理的に整理し、解決方法を自ら見いだすことができる。 10. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすことができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 これまでに学んだ行動科学について復習する。 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 無・実習書（配布）、スライドなどの説明資料</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁孝 鈴木 義亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/10 (火) 2時限 10:40~12:10	ガイダンス	<p>指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>ア 診察のあり方</p> <p>b 心理社会的側面 (プライバシー、尊厳)・苦痛への配慮</p> <p>c 自己紹介、患者の確認</p> <p>d 患者への説明・声かけ・例示</p> <p>2 社会と歯科医療</p> <p>エ 医療の質の確保</p> <p>a 患者満足度</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力</p> <p>A-1 プロフェッショナルリズム</p> <p>A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権</p> <p>②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。</p> <p>A-4 コミュニケーション能力</p> <p>A-4-1) コミュニケーション</p> <p>①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。</p> <p>②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。</p> <p>③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-1 診療の基本</p> <p>E-1-1) 診察の基本</p> <p>③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。</p> <p>F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習))</p> <p>F-1 診察の基本</p> <p>F-1-1) 口腔内の診察・記録</p> <p>①患者情報を収集、分析できる。</p> <p>③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。</p> <p>F-2 基本的診察法</p> <p>F-2-1) 医療面接</p> <p>①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。</p> <p>②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。</p> <p>③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。</p>	<p>*伊藤 孝訓</p> <p>*多田 充裕</p> <p>*内田 貴之</p> <p>*青木 伸一郎</p> <p>*遠藤 弘康</p> <p>*岡本 康裕</p> <p>大沢 聖子</p> <p>海老原 智康</p> <p>*村瀬 仁美</p> <p>*梶本 真澄</p> <p>石井 広志</p> <p>井田 聡子</p> <p>市川 喜之</p> <p>井出 亮也</p> <p>梅田 宜承</p> <p>大川 将彦</p> <p>多田 浩三</p> <p>大山 和次</p> <p>金尾 好章</p> <p>北本 厚</p> <p>佐藤 繁孝</p> <p>鈴木 義亨</p> <p>須永 亨</p> <p>関 真之</p> <p>野崎 勝也</p> <p>堀内 一敦</p> <p>神濱 敦</p>
2019/09/17 (火) 1時限 09:00~10:30	問題志向型診療録 (1) 「問題点の抽出、 整理」	<p>【授業の一般目標】</p> <p>全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <p>1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」</p> <p>2. POMR (問題志向型診療録) の記載項目をあげて、各々の意義を説明できる。</p> <p>3. POS の形式に則った情報を整理できる。</p> <p>4. 問題点の抽出を行い、問題リストをまとめることができる。</p> <p>5. 歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。</p> <p>6. 現症所見から正常、異常を判断できる。</p> <p>7. 臨床診断名を決定した理由を述べることができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 問題志向型医療 (POS) について復習する。</p> <p>・準備学修時間: 30分</p> <p>・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。</p> <p>・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>有: グループディスカッションを行う。 ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>2 社会と歯科医療</p> <p>コ 診療録、医療情報の記録と管理</p> <p>a 診療に関する記録 (診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型) の管理・保存</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>2 社会と歯科医療</p> <p>コ 診療録、医療情報の記録と管理</p> <p>b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画)</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力</p> <p>A-4 コミュニケーション能力</p> <p>A-4-2) 患者と歯科医師の関係</p> <p>③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-1 診療の基本</p> <p>E-1-1) 診察の基本</p> <p>①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。</p> <p>③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。</p> <p>⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる</p> <p>F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習))</p> <p>F-1 診察の基本</p> <p>F-1-1) 口腔内の診察・記録</p>	<p>*伊藤 孝訓</p> <p>*多田 充裕</p> <p>*内田 貴之</p> <p>*青木 伸一郎</p> <p>*遠藤 弘康</p> <p>*岡本 康裕</p> <p>大沢 聖子</p> <p>海老原 智康</p> <p>*村瀬 仁美</p> <p>*梶本 真澄</p> <p>石井 広志</p> <p>井田 聡子</p> <p>市川 喜之</p> <p>井出 亮也</p> <p>梅田 宜承</p> <p>大川 将彦</p> <p>多田 浩三</p> <p>大山 和次</p> <p>金尾 好章</p> <p>北本 厚</p> <p>佐藤 繁孝</p> <p>鈴木 義亨</p> <p>須永 亨</p> <p>関 真之</p> <p>野崎 勝也</p> <p>堀内 一敦</p> <p>神濱 敦</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/17 (火) 1時限 09:00～10:30	問題志向型診療録 (1) 「問題点の抽出、 整理」	<p>①患者情報を収集、分析できる。 ②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 G 臨床実習 G-1 診療の基本 G-1-1) 臨床診断・治療計画 ①歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。 ②診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康裕 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦</p>
2019/09/17 (火) 2時限 10:40～12:10	問題志向型診療録 (1) 「問題点の抽出、 整理」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. POMR (問題志向型診療録) の記載項目をあげて、各々の意義を説明できる。 3. POS の形式に則った情報を整理できる。 4. 問題点の抽出を行い、問題リストをまとめることができる。 5. 歯科治療と全身疾患との関連を理解し説明できる。 6. 現症所見から正常、異常を判断できる。 7. 臨床診断名を決定した理由を述べるができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 問題志向型診療録(POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションを行う。 ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型) の管理・保存</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。 ⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ①患者情報を収集、分析できる。 ②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 G 臨床実習 G-1 診療の基本 G-1-1) 臨床診断・治療計画 ①歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測が</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康裕 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/09/17 (火) 2時限 10:40~12:10	問題志向型診療録 (1) 「問題点の抽出、 整理」	できる。 ②診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大尾 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2019/10/01 (火) 1時限 09:00~10:30	問題志向型診療録 (2) 「発表」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 発表のための技術を実施できる。 3. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすこと 4. チームワーク技術を実施できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 問題志向型医療 (POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：発表、全体討議する。ポスターツアー、ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型) の管理・保存</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。 ⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ①患者情報を収集、分析できる。 ②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画 (subjective, objective, assessment, plan <SOAP>) で診療録を作成できる。 F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 G 臨床実習 G-1 診療の基本 G-1-1) 臨床診断・治療計画 ①歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。 ②診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/01 (火) 1時限 09:00～10:30	問題指向型診療録 (2) 「発表」		*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大金 和次 尾本 好章 北藤 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2019/10/01 (火) 2時限 10:40～12:10	問題指向型診療録 (2) 「発表」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 発表のための技術を実施できる。 3. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすこと 4. チームワーク技術を実施できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 問題志向型診療録(POS) について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：発表、全体討議する。ポスターツアー、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 a 診療に関する記録（診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型）の管理・保存</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 b SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1 診察の基本 ③病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等）を説明できる。 ⑦問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-1 診察の基本 F-1-1 口腔内の診察・記録 ①患者情報を収集、分析できる。 ②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan<SOAP>)で診療録を作成できる。 F-2 基本的診察法 F-2-1 医療面接 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 G 臨床実習 G-1 診療の基本 G-1-1 臨床診断・治療計画 ①歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。 ②診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大金 和次 尾本 好章 北藤 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/01 (火) 2時限 10:40~12:10	問題指向型診療録 (2) 「発表」		* 伊藤 孝訓 * 多田 充裕 * 内田 貴之 * 青木 伸一郎 * 遠藤 弘康 * 岡本 康裕 * 岡本 聖子 * 大沢 原智康 * 海老瀬 仁美 * 村瀬 真澄 * 梶本 広志 * 石井 聡子 * 井田 喜之也 * 市川 孝也 * 井出 宜承 * 梅田 将彦 * 大川 浩三 * 大山 和次 * 山尾 好章 * 金尾 厚 * 北藤 繁 * 佐藤 孝 * 鈴木 義亨 * 須永 亨 * 関 真之 * 野崎 勝也 * 堀内 一敦 * 神濱 敦
2019/10/08 (火) 1時限 09:00~10:30	問題志向型診療録 (3) 「治療方針の立案」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 各疾患に対して適切な治療方針を立案できる。 3. 一口腔単位を考慮した治療方針を立案できる。 4. 治療方針の立案の根拠を説明できる。 5. 診断名を決定した根拠を説明できる。 6. 治療方針に従った治療順序を列挙できる。 7. 基本的な患者教育の内容を立案できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 歯科疾患について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型) の管理・保存</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。 ⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ①患者情報を収集、分析できる。 ②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画 (subjective, objective, assessment, plan <SOAP>) で診療録を作成できる。 F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 G 臨床実習 G-1 診療の基本 G-1-1) 臨床診断・治療計画</p>	* 伊藤 孝訓 * 多田 充裕 * 内田 貴之 * 青木 伸一郎 * 遠藤 弘康 * 岡本 康裕 * 岡本 聖子 * 大沢 原智康 * 海老瀬 仁美 * 村瀬 真澄 * 梶本 広志 * 石井 聡子 * 井田 喜之也 * 市川 孝也 * 井出 宜承 * 梅田 将彦 * 大川 浩三 * 大山 和次 * 山尾 好章 * 金尾 厚 * 北藤 繁 * 佐藤 孝 * 鈴木 義亨 * 須永 亨 * 関 真之 * 野崎 勝也 * 堀内 一敦 * 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/08 (火) 1時限 09:00~10:30	問題志向型診療録 (3) 「治療方針の立案」	①歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。 ②診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 *多田 浩三 大山 和次 *金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2019/10/08 (火) 2時限 10:40~12:10	問題志向型診療録 (3) 「治療方針の立案」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 各疾患に対して適切な治療方針を立案できる。 3. 一口腔単位を考慮した治療方針を立案できる。 4. 治療方針の立案の根拠を説明できる。 5. 診断名を決定した根拠を説明できる。 6. 治療方針に従った治療順序を列挙できる。 7. 基本的な患者教育の内容を立案できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 歯科疾患について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型) の管理・保存</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。 ⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ①患者情報を収集、分析できる。 ②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画 (subjective, objective, assessment, plan <SOAP>) で診療録を作成できる。 F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 G 臨床実習 G-1 診療の基本 G-1-1) 臨床診断・治療計画</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 *多田 浩三 大山 和次 *金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/08 (火) 2時限 10:40～12:10	問題志向型診療録 (3) 「治療方針の立案」	①歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。 ②診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2019/10/15 (火) 1時限 09:00～10:30	問題指向型診療録 (4) 「発表」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOS）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 発表のための技術を実施できる。 3. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすこと 4. チームワーク技術を実施できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOSの項目を調べる。 歯科疾患に対する治療法について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：発表、全体議論する。 ポスターツアー、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 a 診療に関する記録（診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型）の管理・保存</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 b SOAP（主観的情報、客観的情報、評価、計画）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等）を説明できる。 ⑦問題志向型診療記録(problem-oriented medical record <POMR>)を説明できる F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ①患者情報を収集、分析できる。 ②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画(subjective, objective, assessment, plan<SOAP>)で診療録を作成できる。 F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 G 臨床実習 G-1 診療の基本 G-1-1) 臨床診断・治療計画 ①歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/15 (火) 1時限 09:00~10:30	問題指向型診療録 (4) 「発表」	②診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康裕 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大 金 好章 尾 厚 北 藤 繁 佐 義 孝 鈴木 亨 須 永 関 真 野 崎 勝也 堀 内 一 神 濱 敦
2019/10/15 (火) 2時限 10:40~12:10	問題指向型診療録 (4) 「発表」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、問題志向型診療録に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 発表のための技術を実施できる。 3. 他の学習者と協力して、最適な解決方法を見いだすこと 4. チームワーク技術を実施できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 歯科疾患に対する治療法について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：発表、全体議論する。 ポスターツアー、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 a 診療に関する記録 (診療録、同意書、処方箋、検査所見記録、画像記録、手術記録、入院診療計画書、退院時要約、技工指示書、模型) の管理・保存</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 2 社会と歯科医療 コ 診療録、医療情報の記録と管理 b SOAP (主観的情報、客観的情報、評価、計画)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-4 コミュニケーション能力 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ③患者の心理的・社会的背景や自立した生活を送るための課題を把握し、抱える問題点を抽出・整理できる。 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ③病歴聴取 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、生活歴、社会歴・職業歴等) を説明できる。 ⑦問題志向型診療記録 (problem-oriented medical record <POMR>) を説明できる F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-1 診察の基本 F-1-1) 口腔内の診察・記録 ①患者情報を収集、分析できる。 ②患者情報から必要な診察、検査を説明できる。 ③高頻度歯科疾患を診断し、その治療方針・治療計画を立案できる。 ④主観的所見、客観的所見、評価、計画 (subjective, objective, assessment, plan <SOAP>) で診療録を作成できる。 F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ④患者の身体的・精神的・社会的苦痛に配慮し、問題点を抽出、整理できる。 G 臨床実習 G-1 診療の基本 G-1-1) 臨床診断・治療計画 ①歯科・口腔疾患を正しく診断し、治療方針・治療計画の立案、予後の推測ができる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康裕 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大 金 好章 尾 厚 北 藤 繁 佐 義 孝 鈴木 亨 須 永 関 真 野 崎 勝也 堀 内 一 神 濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/15 (火) 2時限 10:40~12:10	問題指向型診療録 (4) 「発表」	②診断並びに治療方針・治療計画を患者にわかりやすく説明できる。	* 伊藤 孝訓 * 多田 充裕 * 内田 貴之 * 青木 伸一郎 * 遠藤 弘康 * 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 * 村瀬 仁美 * 梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 大金 好章 尾本 厚 北藤 繁 佐藤 孝 鈴木 義亨 須永 真之 関 真 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2019/10/29 (火) 1時限 09:00~10:30	医療面接(1) 「医療面接とは？ 主訴・現病歴・既往歴の記載演習」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 3. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 4. 齶蝕、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 5. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 6. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 7. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 8. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 9. 受療動機の重要性を理解し表現できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療面接について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ケーススタディを用いた記録の練習をする。 振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。</p>	* 伊藤 孝訓 * 多田 充裕 * 内田 貴之 * 青木 伸一郎 * 遠藤 弘康 * 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 * 村瀬 仁美 * 梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 大金 好章 尾本 厚 北藤 繁 佐藤 孝 鈴木 義亨 須永 真之 関 真 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/29 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接(1) 「医療面接とは？ 主訴・現病歴・既往歴の記載演習」	G 臨床実習 G-2 基本的診察法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 和次 大金 好章 北尾 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2019/10/29 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接(1) 「医療面接とは？ 主訴・現病歴・既往歴の記載演習」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 3. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 4. 齶蝕、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 5. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 6. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 7. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 8. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 9. 受療動機の重要性を理解し表現できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療面接について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ケーススタディを用いた記録の練習をする。 振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略（LS）】 演習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 c 聴取事項（主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望）</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的（医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加） b マナー（身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応）</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法（言語的・準言語的・非言語的）を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習（模型実習・相互演習（実習）） F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴（主訴、現病歴、既往歴、家族歴）を聴取できる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 和次 大金 好章 北尾 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/10/29 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接(1) 「医療面接とは？ 主訴・現病歴・既往歴の記載演習」	G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴一郎 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康裕 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美澄 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 *多田 浩三 大山 和次 *大金 好章 *尾本 厚 北藤 繁 *佐藤 義孝 鈴木 亨 *須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2019/11/05 (火) 1時限 09:00~10:30	医療面接(2) 「評価シート・評価マニュアルの作成」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接の目的を説明できる。 3. 医療面接の流れを説明できる。 4. 医療面接に必要な態度、マナーを説明できる。 5. 患者中心の歯科医療を説明できる。 6. 医療面接におけるコンテンツの評価項目を説明できる。 7. 医療面接におけるコンテンツの評価基準を説明できる。 8. 医療面接におけるプロセスの評価項目を説明できる。 9. 医療面接におけるプロセスの評価基準を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療面接の評価項目について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診療法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴一郎 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康裕 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美澄 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 *多田 浩三 大山 和次 *大金 好章 *尾本 厚 北藤 繁 *佐藤 義孝 鈴木 亨 *須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/05 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接(2) 「評価シート・評価マニュアルの作成」	G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴一郎 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 大金 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2019/11/05 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接(2) 「評価シート・評価マニュアルの作成」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接の行動評価に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接の目的を説明できる。 3. 医療面接の流れを説明できる。 4. 医療面接に必要な態度、マナーを説明できる。 5. 患者中心の歯科医療を説明できる。 6. 医療面接におけるコンテンツの評価項目を説明できる。 7. 医療面接におけるコンテンツの評価基準を説明できる。 8. 医療面接におけるプロセスの評価項目を説明できる。 9. 医療面接におけるプロセスの評価基準を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療面接の評価項目について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診療法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴一郎 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 大金 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/05 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接(2) 「評価シート・評価マニュアルの作成」	G 臨床実習 G-2 基本的診察法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 大金 好章 北尾 厚 本藤 繁 佐藤 孝 鈴木 義亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2019/11/12 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接(3) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用シナリオの作成(初診)①」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者の心理面や行動面を考慮した場を設定できる。 3. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 4. 齶齦、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 5. 症例に基づいたシナリオを作成できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 シナリオの作り方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診察技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診察法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 大金 好章 北尾 厚 本藤 繁 佐藤 孝 鈴木 義亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/12 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接(3) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用シナリオの作成(初診)①」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 3. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 4. 齶蝕, 歯髄炎, 歯周炎の自覚症状が説明できる。 5. 症例に基づいたシナリオを作成できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 シナリオの作り方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書(配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的(医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー(身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱</p>
2019/11/19 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接(4) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用シナリオの作成(初診)②」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3. 齶蝕, 歯髄炎, 歯周炎の自覚症状が説明できる。 4. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 5. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 6. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 7. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 8. 受療動機の重要性を理解し表現できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療面接の質問法について復習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書(配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略(LS)】 演習</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/19 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接(4) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成 (初診)②」	<p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的(医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー(身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱</p>
2019/11/19 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接(4) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成 (初診)②」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 3. 齶蝕、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 4. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 5. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 6. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 7. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 8. 受療動機の重要性を理解し表現できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 医療面接の質問法について復習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書(配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略(LS)】 演習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的(医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー(身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/19 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接(4) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成 (初診)②」	A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *藤本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2019/11/26 (火) 1時限 09:00~10:30	医療面接(5) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成 (初診)③」SP参加	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 3. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 4. 齶齶、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 5. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 6. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 7. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 8. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 9. 受療動機の重要性を理解し表現できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者の心理について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書(配布)、症例ケース資料 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 302教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的(医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー(身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *藤本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/26 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接(5) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成 (初診)③」SP参加	G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 大金 好章 尾本 厚 北藤 繁 佐藤 孝 鈴木 義亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2019/11/26 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接(5) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成 (初診)③」SP参加	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 患者の心理面や行動面を考慮した場面を設定できる。 3. 模擬症例における医療面接の流れが説明できる。 4. 齶齶、歯髄炎、歯周炎の自覚症状が説明できる。 5. 症例に基づいたシナリオを作成できる。 6. 主訴・現病歴など患者心理を配慮した訴え方を表現できる。 7. クリティカルシンキングを意識したシナリオのストーリーを考えることができる。 8. 解釈モデルの重要性を理解し表現できる。 9. 受療動機の重要性を理解し表現できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 患者の心理について復習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診療法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 老也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 大金 好章 尾本 厚 北藤 繁 佐藤 孝 鈴木 義亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/11/26 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接(5) 「患者背景の設定 / ロールプレイ用 シナリオの作成 (初診)③」SP参加	G 臨床実習 G-2 基本的診察法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 大金 好章 北尾 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2019/12/03 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接(6) 「ビデオ撮影 ロールプレイ演習」	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接に適した態度ができる。 4. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 5. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 6. 模擬患者さんに対する配慮ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書(配布)、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器 【学修方略(LS)】 演習 【場所(教室/実習室)】 302教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的(医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー(身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項(主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法(言語的・準言語的・非言語的)を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴(主訴、現病歴、既往歴、家族歴)を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診察法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 大金 好章 北尾 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/03 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接 (6) 「ビデオ撮影 ロールプレイ演習」		*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2019/12/03 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接 (6) 「ビデオ撮影 ロールプレイ演習」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接に適した態度ができる。 4. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 5. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 6. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 会話のトレーニングの重要性をネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ロールプレイ、ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診察法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/10 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接 (6) 「ビデオ撮影 演習」 SP	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接に適した態度ができる。 4. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 5. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 6. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 コミュニケーションの本質についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナルリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱</p>
2019/12/10 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接 (6) 「ビデオ撮影 演習」 SP	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 初診患者に対応した医療面接ができる。 3. 医療面接に適した態度ができる。 4. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 5. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 6. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 コミュニケーションの本質についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料、診療ユニット、撮影機器</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/10 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接 (6) 「ビデオ撮影 演習」 SP	<p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦</p>
2019/12/17 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接 (8) 「医療面接のReflection」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度を分析できる。 3. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された質問法を分析できる。 4. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 6. 医療面接 (ロールプレイ) の歯科疾患の臨床推論を分析できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 振り返りの仕方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力</p>	<p>*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 多田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/17 (火) 1時限 09:00~10:30	医療面接 (8) 「医療面接のReflection」	A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *藤本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2019/12/17 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接 (8) 「医療面接のReflection」	【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度を分析できる。 3. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された質問法を分析できる。 4. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接 (ロールプレイ) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 6. 医療面接 (ロールプレイ) の歯科疾患の臨床推論を分析できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目: シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 振り返りの仕方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間: 30分 ・事後学修項目: 授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間: 30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有: グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料 【学修方略 (LS)】 演習 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加) 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望) 【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *藤本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 大田 浩三 大山 和次 金尾 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/17 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接 (8) 「医療面接のReflection」	①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	* 伊藤 孝訓 * 多田 充裕 * 内田 貴之 * 青木 伸一郎 * 遠藤 弘康 * 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 * 村瀬 仁美 * 梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝彦 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大金 和次 尾本 好章 北藤 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2019/12/24 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接 (9) 「発表」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 発表のための技術を実施できる。 3. 他の学習者と協力して、最適な解決方法をみいだすことができる。 4. チームワーク技術を実施できる。 5. 初診患者に対応した医療面接ができる。 6. 医療面接に適した態度ができる。 7. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 8. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 9. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 正しい評価の仕方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：発表し、全体議論する。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習</p>	* 伊藤 孝訓 * 多田 充裕 * 内田 貴之 * 青木 伸一郎 * 遠藤 弘康 * 岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 * 村瀬 仁美 * 梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝彦 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大金 和次 尾本 好章 北藤 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/24 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接 (9) 「発表」	G-2 基本的診察法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大尾 和次 金尾 好章 北藤 厚繁 佐藤 繁孝 鈴木 義亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦
2019/12/24 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接 (9) 「発表」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 発表のための技術を実施できる。 3. 他の学習者と協力して、最適な解決方法をみいだすことができる。 4. チームワーク技術を実施できる。 5. 初診患者に対応した医療面接ができる。 6. 医療面接に適した態度ができる。 7. 医療面接で用いるコミュニケーションスキルが表現できる。 8. 医療面接で用いる非言語的コミュニケーションを表現できる。 9. 模擬患者さんに対する配慮ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 正しい評価の仕方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：発表し、全体議論する。 ケーススタディ、振り返り・実習書（配布）、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1) コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2) 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1) 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大尾 和次 金尾 好章 北藤 厚繁 佐藤 繁孝 鈴木 義亨 須永 真之 関 真之 野崎 勝也 堀内 一敦 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2019/12/24 (火) 2時限 10:40~12:10	医療面接 (9) 「発表」	G-2 基本的診察法 ①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大金 和次 尾本 好章 北藤 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2020/01/14 (火) 1時限 09:00~10:30	医療面接 (10) 「SP演習のフィードバック」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度を分析できる。 3. 医療面接 (SP演習) で使用された質問法を分析できる。 4. 医療面接 (SP演習) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接 (SP演習) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 6. 医療面接 (SP演習) の歯科疾患の臨床推論を分析できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 効果的なフィードバックの仕方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1 コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診察法</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝也 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大金 和次 尾本 好章 北藤 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/14 (火) 1時限 09:00～10:30	医療面接 (10) 「SP演習のフィードバック」	①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝彦 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大金 和次 尾本 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2020/01/14 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接 (10) 「SP演習のフィードバック」	<p>【授業の一般目標】 全人的歯科医療を実践するために、医療面接に関する知識を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 「臨床経験に基づき以下の内容を教授する。」 2. 医療面接に適した態度を分析できる。 3. 医療面接 (SP演習) で使用された質問法を分析できる。 4. 医療面接 (SP演習) で使用された言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 5. 医療面接 (SP演習) で使用された非言語的コミュニケーションスキルを分析できる。 6. 医療面接 (SP演習) の歯科疾患の臨床推論を分析できる</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ・準備学修項目：シラバスを確認し、SBOsの項目を調べる。 効果的なフィードバックの仕方についてネット等で調べ自習する。 ・準備学修時間：30分 ・事後学修項目：授業時配布資料を振り返る。 ・事後学修時間：30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 有：グループディスカッションをする。 ケーススタディ、振り返り・実習書 (配布)、症例ケース資料</p> <p>【学修方略 (LS)】 演習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 a 意義、目的 (医療情報の収集・提供、患者歯科医師関係の確立、患者の指導、動機付け、治療への参加)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 9 診察の基本 ウ 医療面接 b マナー (身だしなみ、挨拶、態度、会話のマナー、コミュニケーションの進め方、プライバシーの保護、感情面への対応) c 聴取事項 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴、患者・家族の考え方・希望)</p> <p>【コアカリキュラム】 A 歯科医師として求められる基本的な資質・能力 A-1 プロフェッショナリズム A-1-3 歯科医師としての責務と裁量権 ②患者との信頼関係構築の重要性を説明できる。 A-3 診療技能と患者ケア ①適切な医療面接により、患者との良好な関係を構築し、必要に応じて患者教育を実施できる。 A-4 コミュニケーション能力 A-4-1 コミュニケーション ①コミュニケーションの意義、目的と技法 (言語的・準言語的・非言語的) を説明できる。 ②コミュニケーションを通じて良好な人間関係を築くことができる。 ③医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 A-4-2 患者と歯科医師の関係 ②患者に分かりやすい言葉で説明できる。 F シミュレーション実習 (模型実習・相互演習 (実習)) F-2 基本的診察法 F-2-1 医療面接 ①適切な身だしなみ、言葉遣い及び態度で患者に接することができる。 ②医療面接における基本的なコミュニケーションができる。 ③患者の病歴 (主訴、現病歴、既往歴、家族歴) を聴取できる。 G 臨床実習 G-2 基本的診療法</p>	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝彦 梅田 宜承 大川 将彦 大山 浩三 大金 和次 尾本 好章 北本 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2020/01/14 (火) 2時限 10:40～12:10	医療面接 (10) 「SP演習のフィードバック」	①医療面接を実施し、患者と良好なコミュニケーションがとれる。	*伊藤 孝訓 *多田 充裕 *内田 貴之 *青木 伸一郎 *遠藤 弘康 *岡本 康裕 大沢 聖子 海老原 智康 *村瀬 仁美 *梶本 真澄 石井 広志 井田 聡子 市川 喜之也 井出 孝彦 梅田 宜承 大川 将彦 大山 和次 大金 好章 北尾 厚 佐藤 繁 鈴木 義孝 須永 亨 関 真之 野崎 勝也 堀内 一 神濱 敦
2020/01/21 (火) 1時限 09:00～10:30	平常試験・解説講義	【授業の一般目標】 【準備学修項目と準備学修時間】 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【学修方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室	*伊藤 孝訓 *岡本 康裕
2020/01/21 (火) 2時限 10:40～12:10	平常試験・解説講義	【授業の一般目標】 【準備学修項目と準備学修時間】 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 【学修方略 (LS)】 その他 【場所 (教室/実習室)】 302教室、第2実習室	*伊藤 孝訓 *岡本 康裕